

総合的な探究(学習)の時間を通じた 探究スキルの習得

岡山県 岡山県立倉敷青陵高等学校

基本データ

所在地	岡山県倉敷市羽島 1046-2
児童生徒数	953 人
教職員数	81 人
蔵書数	約 43,000 冊
年間貸出冊数	約 9,300 冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】計画的・組織的な運営・活用

【活動のねらい】

- 多角的な視点を持ち、生じた疑問や課題について自ら問題解決するためのスキルを習得し、卒業後の学問や社会生活で活かせる探究思考力を身につけること。

取組・活動の概要

【週1回の総合的な探究の時間(1年)と総合的な学習の時間(2年)】

- 1年次前半は、探究スキルについて実践を通して具体的に学び、後半はそのスキルを意識させながら繰り返し使うことでスキル習得ができるようプログラムを作成している。
- 2年次にはそのスキルを活用しゼミ活動(探究)を行っている。ゼミ活動の内容として、①1日総探(総合学習、情報整理・資料デザイン・発表態度)、②学部学科研究(情報ツールを知る)、③メディア・リテラシー(新聞の読み比べ/クリティカル・リーディングによる情報読解力・批判的読解力・情報収集・分析と検証)、④ディベート、⑤小論文、⑥プレゼミ、⑦ゼミを行っている。
- プログラムの作成やその改善のために、担当者だけでなく、司書や司書教諭が加わり、共に検討を行っている。
- 図書館ではワークシートの作成や提供、シンキングツールの提供や使い方のレクチャー、情報を蓄積していくための情報カードの提供などを行っている。



シンキングツールを利用する生徒

- 図書館には大型モニター1台、PC10台、iPad40台、ホワイトボード3枚、まなボード20枚などの設備も整えており、活発に利用されている。



書籍・iPadを使った情報収集

取組・活動の工夫や特徴

- それぞれの学習活動で身に付けるべきスキルを明確に示し、そのスキルを教員間で共有し生徒に伝えるための、指導案や配付資料の検討。
- 習得したスキルの入試や社会生活などでの活用法を伝える。
- 他教科の図書館利用授業でも習得したスキルを使えるよう、司書がハブ的役割を努める。

取組・活動の成果や今後の展望

- 情報収集スキルの上達(白書・政府の統計データ・新聞・論文などの活用を生徒が自ら行う)
- レファレンスの増加・深化
- 授業以外での利活用の増加(部活動や入試など)
- 総合的な探究(学習)の時間以外の教科・科目での図書館利用授業の増加